

#医学書院の新刊

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.1195) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



『medicina』2021年7月号 (Vol.58 No.8)

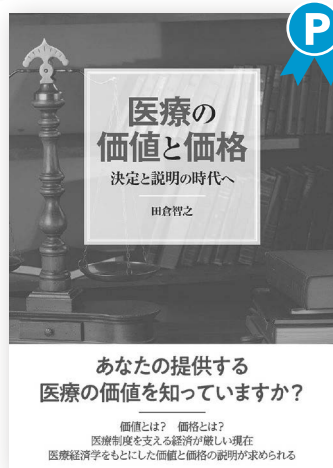
ジェネラリスト・漢方

とおきの漢方活用術

吉永 亮=企画

定価 2,860 円 / B5 判・178 頁 / 医学書院 / 2021

漢方は現代医療のなかで、内科疾患だけでなく、消化器外科・婦人科・脳神経外科・泌尿器科・心療内科など、あらゆる領域で活用されている。特に総合診療やプライマリ・ケアの現場では、内科に限らずさまざまな症状をもつ患者、診断がつかない愁訴をもつ患者、標準的治療に難渋する患者などにしばしば遭遇するが、そういった場合に漢方治療を知っていると、異なる視点からのアプローチが可能になる (序文より)。



医療の価値と価格

決定と説明の時代へ

田倉智之=著

定価 3,850 円 / A5 判・276 頁 / 医学書院 / 2021

医療制度を支える経済情勢が厳しさを増す現在、医療の「価値」や「価格」を正面から論じる必要がある。本書では、価値や価格を論じるのに必要な基礎知識を体系的に整理した。「医療経済学」をベースに医療の価値と価格を“見える化”し、価値に見合った社会的な負担を関係者に説明すること、そして価値に関する議論や関係者の理解が進むことにより、わが国の医療の発展につながることを目指す。



JRC 蘇生ガイドライン 2020

一般社団法人 日本蘇生協議会=監修

定価 5,500 円 / A4 判・532 頁 / 医学書院 / 2021

日本蘇生協議会による救急蘇生のガイドラインが5年ぶりに改訂された。編集委員会・作業部会による徹底した議論によって検討されまとめられた本書は、蘇生現場のコンセンサスとしてまさに必携の書。すべて GRADE による評価を採用した国際基準のガイドラインである。新たに「妊産婦の蘇生」「海外での課題」の章を追加し、補遺には「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)」への対応もまとめた。救急蘇生の現場で奮闘するすべての人へ。